

Wakaba F.C. の理念

Wakaba F.C. は 1981 年の創立以来、選手の保護者をはじめ、地域の多くの関係者に支えられ永らく活動を続けてきました。今も未就学児から小学校 6 年生までの選手が、一生懸命にボールを追いかけて、サッカーを楽しんでいます。

一方、昨今では、様々なサッカークラブやスクールが創立され、選手のニーズに応じた選択が可能となりました。

こうした中であって、Wakaba F.C. がこれからも地域に根差し、仲間と切磋琢磨しながら楽しくサッカーができ、選手を預ける保護者が安心できるクラブとして存続していきたいと考えています。

そのため、これまでの活動を通して大切にしてきたこと、日本サッカー協会の方向性、また、時代の変化に対応した考え方等を踏まえて、以下の通り、Wakaba F.C. の『理念』を整理しました。

今後は、この『理念』を念頭に指導方針を改訂し、選手や保護者が心から“Wakaba で良かった”と思えるサッカークラブを目指していきます。

○Respect の精神を育てる

- ・ Wakaba F.C. の招待大会名が『Respect Cup』であるように、サッカーは 1 人では成立しないスポーツです。周囲の指導者や仲間をはじめ、チーム運営関係者、保護者、大会運営関係者、対戦相手など、多くの協力の下で成立していることを選手が理解できるよう促し、感謝の心を育むとともに、常に Respect の精神を持って挨拶することや行動することの大切さを伝えていきます。
- ・ 選手が一生懸命に楽しくプレーできるようサポートし、夢をかなえるために関わり、将来を見据えて育てていきます。
- ・ フェアプレー精神の徹底だけでなく、ルールを遵守し、不正なプレーは選手として成長しないことを理解できるよう指導します。
(JFA におけるリスペクトに関する取組 : <https://www.jfa.jp/respect/>)

○持続可能なクラブとする

- ・ 運動が苦手でも、障害があっても、外国人でも、誰でも入れるクラブとして、Wakaba F.C. が地域から信頼されるための持続可能な仕組み（合議制、指導方針、マニュアル）を作り、これを継承していきます。
- ・ こうした仕組みの下で、指導者は自らを過信せず、常に省みることで時代に合わせた指導を行えるよう取り組みます。
- ・ サッカーは本来、楽しいもの、爽快感を得られるものであることを前提とし、Wakaba F.C. における、あらゆる暴力・暴言やハラスメントを排除します。
- ・ 選手が安全・安心してサッカーに取り組むことができる環境（熱中症対策、設備）を整備します。